

様式第 3

会 議 録

会 議 名	平成 3 0 年度第 9 回野田市行政改革推進委員会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価 及び検討並びに経営健全化方針の策定について (公開) 2 教育委員会に属する事務の管理並びに執行管理 の点検及び評価について(公開)
日 時	平成 3 1 年 1 月 3 0 日 (水) 午後 2 時から午後 4 時 4 0 分まで
場 所	市役所高層棟 8 階 大会議室
出席者氏名	会 長 山本和也 副会長 田中かよ子 委 員 小松栄、染谷よし江、津佐清、中野祐三郎、 谷田貝しづ子、山崎清、横川しげ子 事務局 今村繁 (副市長)、佐藤裕 (教育長)、山下敏 也 (自然経済推進部長)、佐久間進 (自然経済 推進部次長兼みどりと水のまちづくり課長)、 杉山一男 (生涯学習部部長)、宮澤一弥 (生涯学習部次長兼社会教育課長)、長妻 美孝 (学校教育部長)、矢部雅彦 (学校教 育部次長兼指導課長)、船橋高志 (学校教 育部参事兼学校教育課長)、磯部恵子 (指導課指導主事)、大久保貞則 (行政管理 課長)、武田真弓 (行政管理課長補佐)、大久保 崇雄 (行政管理課事務管理係長)、島津奈身 (行政管理課事務管理係主任主事)、古谷尚久 (行政管理課事務管理係主任主事)
欠席委員氏名	江原正子
傍 聴 者	無し
議 事	第 9 回野田市行政改革推進委員会の会議結果 (概要) は、次のとおりである。

行政管理課長補佐	平成31年1月30日午後2時、開会を宣言し、会議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。
	会議録作成のため録音機を使用することについて了解を得た。
山本会長	議題1 一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討並びに経営健全化方針の策定について 一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討並びに経営健全化方針の策定について事務局の説明を求めた。
自然経済推進部長	<資料に基づき、一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について説明>
自然経済推進部次長	<資料に基づき、一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について追加説明>
行政管理課長	<資料に基づき、一般財団法人野田市開発協会の経営健全化方針の策定について説明>
山本会長	一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討並びに経営健全化方針の策定について質疑及び意見を求めた。
山崎委員	市の支援策として、みどりのふるさと基金分の免除とあるが年間ではいくらか。また、借地料の3割削減についても併せて聴きたい。
自然経済推進部次長	みどりのふるさと基金の免除額は、一人当たり3000円であり、年間約3千万円である。また、借地料の削減額はひばりコース及びけやきコースの合計で年間約2千万円である。
山崎委員	建設償還金の猶予は33年度までとあるが、具体的にはどのような内容であり、現在猶予されている金額はいくらか。また、公有財産購入費は誰が誰に支払っているのか。
自然経済推進部長	当初、けやきコースは開発協会が事業主体となり金融機関から融資を受け、建設する計画であった。しかし、途中で事業主体を市に変更して建設することになったため、市が開発協会に建設を委託する形を採った。
	これにより、市の損失補償を受けて開発協会が金融

<p>山 崎 委 員 自然経済推進部長</p>	<p>機関から融資を受けて建設し、コース使用料として建設償還金相当額を市に一旦納入し、その後に再度市から建設償還金として開発協会に支払う仕組みとした。</p> <p>現在、市に支払うコース使用料を33年度まで猶予している。そのため、市がけやきコースの建設償還金を協会に支払っているのみという状況であり、これが年間1億480万円となっている。</p> <p>参考にもう一つの借入れについて述べる。一般財団法人への移行により、市の損失補償ができなくなることから、市で損失補償ができる25年度中に開発協会の運営資金の借換えを行い、借入金元金と利子の平準化を図った。こちらについて、29年度は計画どおり1億1300万円を返済している。</p> <p>資料に貸借対照表等があるが、今の説明に該当する部分はどこか。</p>
<p>山 崎 委 員 自然経済推進部次長</p>	<p>資料9ページの貸借対照表に有形固定資産の工事未収金として、4億2,620万円の記載がある。これが29年度末の建設償還金の残額となっている。</p> <p>先ほどの説明で公有財産購入費は分割払いとあったが、29年度で償還が終了したということか。</p>
<p>津 佐 委 員 自然経済推進部次長</p>	<p>経営危機の対策として、営業強化のための人件費や施設改修費を確保するために支払いを停止した建設償還金1年分を、償還金とは別に5年間に分けて支払い、それが29年度に終了したということである。</p>
<p>津 佐 委 員 自然経済推進部次長</p>	<p>みどりのふるさと基金について、パブリックゴルフ場の件は分かったが、そもそもどのようなものか。</p> <p>元々は市のグリーントラストバンク推進のための基金として始まったものである。</p> <p>みどりのふるさと基金の収入は、パブリックゴルフ場での1人300円の寄附のほかに、指定寄附及びふるさと納税がある。支出の内容は、生物多様性のシンボルとしてコウノトリの飼育、緑化推進のためみどりのふるさとづくり実行委員会が行っているみどりのふるさとづくりフェスタや産業祭で配布する苗木及び拠点植樹のための費用がある。</p>
<p>津 佐 委 員</p>	<p>29年度は休場日が多かったが、30年度はどう</p>

<p>自然経済推進部長</p>	<p>か。</p> <p>現在のところ、30年度は台風の影響により、ひばりコースで1日だけクローズがあった。なお、けやきコースのクローズはない。</p>
<p>小松委員</p>	<p>経営健全化方針の案の4ページで給与体系について、「今後は、開発協会独自の給与体系を構築することが急務である」と記載されているが、一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討についての資料2ページには「職員代表及び組合と合意のもと」と書かれている。案では、合意について触れられていないため、もう少し丁寧な言い方にした方が良いのではないかと。</p>
<p>自然経済推進部長</p>	<p>給与体系については、職員代表及び組合と合意のもと進めることとしているが、該当部分の案の表記も変更する。</p>
<p>津佐委員</p>	<p>パブリックゴルフ場について、ひばりコースの集客状況が良いことは分かったが、けやきコースは空きがあるよう見受けられた。</p> <p>市民の利用率はひばりコースが23.6パーセント、けやきコースは18.3パーセントで、けやきコースの方が市外のプレーヤーが多い。</p> <p>ひばりコースの市民料金は平日と休日と同じであるが、休日の料金を500円程度上げるのは問題ないと思われる。</p> <p>同コースの市外料金は、平日は市民と同じだが、休日は平日の2倍の料金となっている。近隣のゴルフ場で休日が平日の2倍の料金となっている所はない。提案になるが、市外料金は平日を500円くらい上げて、市民料金は休日を同じくらい上げることがバランス的には良いと思う。</p>
<p>自然経済推進部次長</p>	<p>利用料金については内部でも検討中であり、現在、経営再建の中で夏季及び冬季の閑散期は割引を行っている。割引率を圧縮すると、利用者のニーズがどれだけ変わるのか試すことを考えている。</p>
<p>津佐委員</p>	<p>閑散期については、ほかのゴルフ場も割引をしているので少し考えた方が良いのではないかと。ひばりコー</p>

	<p>スは市民に好評であることから、休日料金を500円上げても問題はなく、まだ安いと思う。また、市外の方からも休日料金8千円は安く好評と聞いている。</p> <p>経営健全化のためにも集客力を減らさずに、どの程度のことができるか検討が必要だが、先ほど提案したことを実施しても集客力が減ることは考えられないと思う。</p>
<p>自然経済推進部長</p>	<p>休日の市民の利用者が多いことが経営に影響を与えているが、パブリックゴルフ場としての性質上、市民の利用者の理解を得なければならないと考えている。まずは試験的に閑散期の料金を上げて入場者数にどう影響するか確認し、その後、市民料金を上げるという段階的な実施を検討している。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>経営健全化方針の案の中で、「ゴルフ場の経営は、民間ではなく、実績のある第三セクターで経営を行うことが最適である」と記載しているが、実際に民間との比較検証したその上で最適であると表現しているのか疑問に思う。</p> <p>また、定年退職による職員の減少に伴う職員の補充方法については、再雇用による対応を基本にする。しかし、それらの職員が今まで関わってきた中で経営状態が非常に厳しくなったことを踏まえると、再雇用として継続して経営に携わる形で良いのか。新たな人材を外部から求めることも必要と思われる。</p>
<p>自然経済推進部長</p>	<p>現在、市からの支援により経営が安定している状況である。また、35年度には償還も終わるため、それ以降に経営が安定すれば採用も考えられる。しかし、採用には責任も伴うことから、現時点で若い方を採用することは厳しい。そのため、まずは再雇用により職員を確保し、経営が安定してから採用することを考えている。</p>
<p>山本会長</p>	<p>それは再雇用だけで、新規の採用はしないということか。</p>
<p>自然経済推進部長</p>	<p>現時点では新規の採用は考えていない。グリーンキーパーなどは定年退職後に再雇用する話をしており、加えて臨時職員としてほかのゴルフ場にも打診して</p>

山崎委員	いる。
行政管理課長	先ほど質問した「第三セクターが最適である」と表現している理由について、ほかにあれば教えてほしい。
行政管理課長	<p>経営健全化方針の策定は、総務省からの通知に基づくものである。その中で、第三セクターの行っている事業が行政目的と一致しているかをポイントとしている。都市公園管理事業の中で、スポーツ施設としてゴルフ場があり、公的な公園の管理という行政目的と一致する。</p> <p>また、経営についても、33年度末で償還金の返済が終わり、公的な援助も終了となることから経営が安定していくと考えられる。そのため、現時点では、第三セクターの開発協会が都市公園の管理を一体となって経営することが最適と記載している。</p>
津佐委員	29年度はクローズが27日ということで1か月弱と多かったが、それでも6万人近い入場者数があった。しかし、シミュレーションでは5万7千人となっている。自然災害によるクローズがもっと発生するという認識で5万7千人の入場者数を設定しているのか。
自然経済推進部長	各年度の入場者数の計画値を出す際に、前年度の入場者数を参考にしているが、クローズも考慮して入場者数を算出している。なお、ひばりコースは22日、けやきコースは16日のクローズを見込んだ計画入場者数となっている。
津佐委員 自然経済推進部次長	<p>それは天候による影響を考慮したクローズか。</p> <p>ひばりコースは河川敷のため増水によるクローズ、けやきコースは雪によるクローズとなっている。</p>
津佐委員	29年度は27日のクローズで6万人弱の入場者数となっているが、計画では22日のクローズで5万7千人としている。努力目標としては低すぎるのではないか。
自然経済推進部次長	また、経営再建の取組としてパークゴルフ場の整備とあるが、パークゴルフ場は利益が出るのか。 最近、市においてもパークゴルフ協会が設立され、

	<p>全国的にもパークゴルフがブームになっている。事業収益を上げることが目標であるため、どの程度で実施するのか検討中である。事業として行う以上は、収益が出ない公益的事業では難しいので今後精査しながら検討したい。</p>
山 崎 委 員	<p>33年度には、つなぎ融資として1億円程度を銀行から借入する必要があると記載があるが、市の損失補償がなく開発協会の信用だけで借りられる目途はあるのか。</p>
自然経済推進部次長	<p>資金計画上、赤字となるのは退職金のためであり、退職が落ち着けば収益が回復してくる。また、25年度以降、経営の再建ができており、実績として年間約7千万円の利益を上げている。この点を含め銀行と話をしたところ融資の目途は立っている。</p>
山 崎 委 員	<p>貸借対照表の長期借入金10億6,220万円とあるが市が損失補償している額はいくらか。</p>
自然経済推進部長	<p>この借入金については、全額市が損失補償をしている。そのため、破綻となった場合は市が全額負担することになる。</p>
自然経済推進部次長	<p>先ほど説明した借入金の関係について補足したい。けやきコースの建設当時に、市が直接工事をできないため、開発協会に建設を肩代わりしてもらった。開発協会が銀行から借入れをしてけやきコースを建設した。しかし、けやきコースは市の所有であるため、市は公有財産購入費として協会に支払い、その同額を開発協会は借地料を含めたコース使用料として市に支払っていた。24年度に停止した建設償還金は約1億2,500万円であるが、これを25年度から29年度までの5年間に分けて返済した。1億1,300万円というのは同じ建設償還金の30年度の額になる。</p> <p>なお、償還金については2種類あり、けやきコース建設費分及び運営資金分がある。建設費分については33年度に終了し、運営資金分については35年度に終了となり、その時点で今の借金がなくなる。また、今の経営状態であれば、33年度末に1億円くらいの新たな借金をしなければならない。このような借入金</p>

山 本 会 長	<p>の流れとなっている。</p> <p>一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討並びに経営健全化方針の策定について、経営健全化方針に一部追記の上、事務局の説明を了承することで良いか問う。</p> <p>&lt;異議無し&gt;</p> <p>議題2 教育委員会に属する事務の管理並びに執行管理の点検及び評価について</p>
山 本 会 長	<p>教育長に挨拶を求めた。</p>
教 育 長	<p>&lt;女子児童死亡事件の報告及び挨拶&gt;</p>
山 本 会 長	<p>続いて副市長に報告を求めた。</p>
副 市 長	<p>&lt;女子児童死亡事件の今後の対応について報告&gt;</p>
山 本 会 長	<p>議事の進め方は、資料の「目標」ごとに審議をすることによろしいか。</p> <p>&lt;異議無し&gt;</p>
山 本 会 長	<p>各目標の説明に入る前に、制度の概要と点検・評価の方法について、説明を求めた。</p>
生涯学習部長	<p>&lt;制度の概要と点検評価の方向について説明&gt;</p>
山 本 会 長	<p>「目標1」について説明を求めた。</p>
生涯学習部長	<p>&lt;「目標1」(1)及び(10)について説明&gt;</p>
学校教育部長	<p>&lt;「目標1」(2)から(9)、(10)の一部及び(11)について説明&gt;</p>
山 本 会 長	<p>「目標1」について質疑及び意見を求めた。</p>
中 野 委 員	<p>通級指導教室の概要について聴きたい。</p>
指導課指導主事	<p>市内小学校20校のうち12校に設置されている。</p> <p>普通学級の児童が、その児童の教育的なニーズによって週に数時間の指導を受けることができる。例えば、発音が上手くできない、語彙が足りない、人との関わり方など、その児童の困っている内容に合わせて通級指導担当者と共に個別又はグループで学ぶ場となっている。</p>
山 崎 委 員	<p>資料の作成に当たり、新規施策か継続施策か分かるように、新規施策はタイトルの『○』印を『●』印にするなどの工夫があると分かりやすいと思う。</p> <p>質問として、ユニバーサルデザインの視点を持った授業というのはどういう授業なのか。</p>



指導課指導主事

また、土曜授業は近隣市でも実施しているか。土曜授業をしていない市と比較して優位性がどこにあるのか。先生、児童及び保護者に負担もあると思うが、見直しはしないのか。

ユニバーサルデザインについて、誰にとっても分かりやすい授業づくりとして、市で提案しているポイントが三つある。

一つ目は授業の中のユニバーサルデザイン、二つ目は教室環境のユニバーサルデザイン、三つ目は人との関わり方におけるユニバーサルデザインである。

例えば、授業の中のユニバーサルデザインは、授業の狙いをはっきりさせること、学習する流れの手順をしっかりと示すことやICTを活用して画面に映して分かりやすくすることなどを学校に周知している。

学校教育部次長

土曜授業について、土曜授業を県内で実施しているのは市だけである。全国的にみると関西、九州地方では実施している学校も多数あり、都内でも実施している団体がある。

市では、最初はサタデースクールという形で小学校の希望者を対象に補習授業を行っていた。しかし、参加者が減少し、授業を受けてほしい子供たちの参加も少なくなってきたので、全ての子供たちに学習の機会を提供したいという考えが生じた。また、基礎的学力に課題が認められたことから、普段の授業ではできない算数や国語の基礎を補うために、土曜授業という形で全校実施した。

土曜授業の検証については、毎年、教員、子供たち、保護者対象のアンケートを実施している。ある程度の成果を認めながら、もう少し授業内容の工夫を加えていく必要があるという意見を多数頂いており、土曜授業に肯定的な意見は少しずつ少なくなる傾向にある。

山崎委員

例えば土曜授業を行うときに、先生は授業の準備など様々な手間を掛けていると考えられるため、日常の授業さえ忙しいであろう先生の負担が気になる。また、保護者は逆の感想を持つかもしれないが、子供たちは休みの方が嬉しいと思う。そういったことを踏ま

学校教育部長	<p>えると、土曜授業を継続する必要性も考えた方が良いのではないか。</p>
学校教育部長	<p>それは、教育委員会としても直面している問題である。26年度から土曜授業を導入し5年が経過しており、最初は学力向上のため取り組んできたが、5年経つとマンネリ化してくる状況もある。今後の土曜授業の在り方については検証委員会で継続していくべきかどうかも含めて検証していきたい。</p>
山崎委員	<p>また、先生方の負担もあるので、その代替として夏休み10日間を機械警備で無人化し10連休としている。また、教材の準備については市独自でサポートティーチャーや学級支援員を配置し、少しでも効率の良い授業の進め方を検証している。</p>
山崎委員	<p>別の質問だが、学校図書館司書を小学校4校に配置しており、今後は拡充としているが、司書を順次増員していくのか。例えば、4名の司書に複数校を担当させるなどの工夫も必要ではないか。</p>
学校教育部次長	<p>委員の発言のような方法で進めていきたいと考えている。4名の司書については、各学校でボランティアを育成するというのを念頭に進めてきた。徐々に拡充して少しでも学校図書館を子供たちに使ってもらえるような環境づくりを進めたい。</p>
山崎委員	<p>資料34、35ページの業務改善の課題の中で学校組織の時間管理の取組について、市では平均在校時間が週60時間を超えている者の割合は小学校で1.2パーセント、中学校が26.4パーセントと県より低く推移しているという記載がある。学級事務支援員の配置事業の成果で、小学校では子供たちと向き合う時間が増えたということだが、中学校では変わらないという回答が多かったという記載がある。</p>
学校教育部長	<p>中学校のアンケートで子供たちと向き合う時間は変わらないとしながら平均在校時間は県と比べて低くなっているのはなぜか。</p> <p>アンケートの取り方が悪かったかもしれない。担任の立場での業務量という聞き方をしたため、担任業務として回答した時に事務支援員の補助により自分の</p>

	仕事量が減ったというような感覚がないのかもしれない。ただ、働き方改革の中で時間外業務を減らしていこうとしているので、中学校でもかなり意識している。そういった部分で県と比較するとかなり時間外勤務が減っている状況である。
中野委員	今の質問に関連して、平均在校時間は土日の試合などのクラブ活動の時間は含まれているか。
学校教育部長	中学校は土日も部活があり、それを含めた時間である。
山本会長	「目標2」について説明を求めた。
生涯学習部長	<「目標2」について説明>
山本会長	「目標2」について質疑及び意見を求めた。
山崎委員	資料54ページの学校・家庭・地域連携協力推進事業の取組の項目にある子ども未来教室の開設について聴きたい。未来教室と聞くと夢のあるような学習支援と思えるが、実際は基礎学力の向上という部分で土曜授業と重なる。県の補助があるため行っているのか。また、当初は補助されると思うが、次年度以降は継続されるか。市で財源化して継続するという考えか。
社会教育課長	土曜授業は先生が教える学校の授業であるが、子ども未来教室の講師は委託先であるワーカーズコープの講師や民間の方である。 もともとはステップアップセミナーという名称で26年からスタートしており、経済的な理由で学習塾に行けない子供を対象に学習支援を行っていた。29年度からは子ども未来教室として全ての中学生を対象とし、30年度からは授業に対する理解度に差が出てくる小学校3年生も対象にしている。 県の補助金の継続について、次年度は補助金が出ると思う。それ以降については不明だが、しばらくは補助事業として続くと理解している。
山崎委員	子供たちが持ち寄った塾などで使われている教材を使い、分からない部分をアドバイスしてもらう方法か。
社会教育課長	中学生は基本的に自主学習である。小学生3年生は

	<p>自主学習が難しいので、事業者側で教材を用意している。</p>
谷 田 貝 委 員	<p>資料44ページの史跡や文化財の保存と活用に記載されている鈴木貫太郎記念館のギャラリートークというのは施設の中を案内するということか。</p>
社 会 教 育 課 長	<p>展示されているものを順路に沿って学芸員が説明している。</p>
谷 田 貝 委 員	<p>実は私もギャラリートークを受けたが、今まで一度も経験がなかったので、すごく良いことだと思った。ギャラリートークはこれからも続ける予定はあるか。</p>
社 会 教 育 課 長	<p>貫太郎記念館の館長は社会教育課長である私だが常駐していない。実際にいるのはシルバー人材センターの会員である。予算が伴う話なので確定はしていないが、貫太郎記念館を通じて魅力を発信するため、副館長を常駐させて常時若しくは希望に応じてギャラリートークなどを実施したい。</p>
谷 田 貝 委 員	<p>要望に応じてギャラリートークをすれば鈴木貫太郎の魅力が伝わっていくと思う。</p>
社 会 教 育 課 長	<p>現在も団体で予約していただいた際には学芸員が対応している。今後は、副館長が常駐することで予約がない場合も対応する形で強化していきたい。</p>
生 涯 学 習 部 長	<p>補足になるが、今回のギャラリートークは企画展の展示内容の説明をするものであった。今意見を頂いた通常展の案内はボランティアが対応している。今後はいろいろな取組の中で、そのような案内を行いたい。また、31年度も企画展を行うことを検討している。</p>
染 谷 委 員	<p>資料49ページにあるスポーツ・レクリエーション活動の機会の充実の項目にあるニュースポーツについて、川間公民館には道具があるが、ほかの公民館にもあるか。</p>
生 涯 学 習 部 長	<p>川間公民館は新しい公民館であり、開館の際にニュースポーツの道具をそろえた。そういった理由がありほかの公民館にはない。今後、ほかの公民館で実施したいという場合に、貸出しが可能か検討していきたい。また、総合公園体育館にも道具があるので、ニュースポーツの振興に力を入れたい。</p>

染 谷 委 員	<p>私はスポーツ推進委員でもあるが、福田公民館で6回ほど講座があった際に、老人福祉センターから道具を借りた。その後、講習を受けた方から福田公民館でも実施したいという声が上がったが、その都度道具を借りに行かなくてはいけないということだった。ニュースポーツを様々な方に楽しんでいただければ、ほかの公民館にも道具があれば良いと思う。</p>
生涯学習部長	<p>ニュースポーツ普及の条件整備という中で今後検討していきたい。その間は、不便ではあるが道具のある川間公民館、総合公園体育館及び老人福祉センターに声を掛けてほしい。</p>
山 本 会 長	<p>「目標3」について説明を求めた。</p>
生涯学習部長	<p>&lt;目標3について説明&gt;</p>
山 本 会 長	<p>「目標3」について質疑及び意見を求めた。</p>
	<p>&lt;質疑及び意見無し&gt;</p>
山 本 会 長	<p>教育委員会に属する事務の管理並びに執行状況の点検及び評価について了承することで良いか問う。</p>
	<p>&lt;異議無し&gt;</p>
山 本 会 長	<p>その他、連絡事項の有無を事務局に問う。</p>
行政管理課長	<p>&lt;次回の日程をお知らせする&gt;</p>
山 本 会 長	<p>午後4時40分、閉会を宣言した。</p>
	<p style="text-align: right;">以上</p>